

# 第51回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月19日(金)	試合番号	A3	回戦	1回戦
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Aコート		

Aチーム			Bチーム		
大阪市立長吉六反中学校(大阪)			千葉市立若松中学校(千葉)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	14	前半	18	38	
	14	後半	20		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

長吉六反のスローオフで試合開始。すぐさま長吉六反の15番が決め1-0。その後なかなか点が入らない中、若松の2番のシュートで同点となる。2-3での若松の攻撃で長吉六反3番がパスカットからの速攻でシュートを打つが、キーパーのナイスセーブからの逆速攻で点数をとる。互いに点数を取り合う展開の中、若松キーパーのナイスセーブからの速攻が炸裂する。しかし、直後、若松3番の2分間の退場により、1点差まで迫る。しかし、ここで若松5番のシュートで流れを切り、若松が再び自分達のペースで試合を進める。長吉六反は、キーパーを攻撃に投入し、なんとか得点をとろうとするが、若松リードのまま14-18で前半終了。

後半、若松先制で試合が開始する。しかし、その後長吉六反が逆サイド、ポストで3連続得点。ここで若松は焦ることなく、キーパーの連続セーブから一気に4点を追加し、さらに2番の俊足の速攻で流れを引き寄せ。点差7点となった長吉六反の苦しい攻撃だったが、若松5番の2分間退場の間に3点を取り返し、反撃する。しかし、若松の速攻やサイドシュートなどで点差が縮まらない。この後、若松はキーパーのナイスセーブから速攻が何度となくつながり点差がつながっていく。タイムアウトの後、一進一退で点数が動かず、苦戦する長吉六反。そのまま試合は進んで試合終了。

記載者名

小池 涼磨